

# 兵庫県保険医協会第98回評議員会のご案内

2021年4月  
兵庫県保険医協会  
理事長 西山 裕康

協会は第97回評議員会後の半年、新型コロナ禍における医療機関の減収補填を求める運動をはじめ、経営対策など会員の身近な要求に応える様々な活動を行ってきました。2021年度の活動方針を協議し、次期役員を選出するため、標記の会議を開催いたします。万障お繰り合わせの上ご出席いただけますようお願いいたします。

■日時 **5月16日(日)13時**～ ■会場 兵庫県保険医協会5F会議室

○第98回評議員会 13時～  
〈議題〉2020年度会務報告と2021年度活動方針案の件、2021年度予算案の件、次期役員選出、他

○特別講演 16時～

## ポストコロナ社会をどうつくるか ～人新世の『資本論』～

大阪市立大学経済学研究科 准教授 **齋藤 幸平** 氏



この間、日本のみならず多くの資本主義国で、新型コロナ禍そのものを生み出すとともに、新型コロナ禍から人々を守ることでできない現在の経済システムに疑問の声が高まっています。

こうした中、講師の齋藤幸平氏は、現在を人類の経済活動が地球を破壊する時代「人新世」として、資本主義ではない別の経済システムに可能性を見出しています。ポストコロナ社会を豊かにするために、私たちはどうすべきか、気鋭の研究者にお聞きします。

さいとう こうへい 1987年生まれ・大阪市立大学大学院経済学研究科准教授。ベルリン・フンボルト大学哲学科博士課程修了。博士(哲学)。専門は経済思想、社会思想。Karl Marx's *Ecosocialism: Capital, Nature, and the Unfinished Critique of Political Economy*(邦訳『大洪水の前に』)によって、権威ある「ドイツチャー記念賞」を歴代最年少で受賞。同書は世界五カ国で刊行。著書『人新世の「資本論」』は発行20万部を超え、新書大賞を受賞。

返信 FAX **078-393-1802**

■第98回評議員会

出席します  欠席します

■特別講演(16時～)

参加します(お席の準備の都合上、事前の申し込みをお願いします)( )人

地区 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

兵庫県保険医協会 650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F  
TEL078-393-1817 FAX393-1802 組織担当 大野

# 兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

345号  
2021年4月25日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F  
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

保険請求事務講習会でスタッフらが請求の基本学ぶ

## 実践を交え保険請求の理解深まる



加茂先生(右上)、武富先生(右下)が講師を務め  
保険請求の基本を解説

神戸支部は4月3日～4日に「初心者のための保険請求事務講習会(医科)」を協会会議室で開催。医療機関の新人事務スタッフを中心に50人が参加した。

加茂統良支部幹事(中央区・加茂皮フ科医院)、武富雅則支部幹事(中央区・武富整形外科)が講師を務め、「保険診療とは」「窓口業務」「各項目の点数」などについて講義。受講者は薬剤料の計算問題などに挑戦した。

同講習会は、協会発行の『保険請求の要点』をテキストに、保険診療や診療報酬の仕組み、窓口業務の基本など、保険請求に関する制度や事務について、2日間かけて学ぶもの。医療事務初心者を対象に毎年4～5回開催しており、年間で500人以上が参加する協会の人気企画となっている。今回も定員を上回る申し込みがあり、神戸支部はオンラインの活用等感染防止に留意しながら、今後も講習会を開催していく。



12月24日出演の林宏明先生(左)と寺谷氏(中央)、犬塚あさな氏(右)

## ラジオ関西「医療を知ろう！」今期の放送終了 「国民目線でわかりやすい」 リスナーから大きな反響

協会が毎年10月～3月に放送しているラジオ関西「寺谷一紀と！ い・しょく・じゅう！」内コーナー「医療を知ろう！」は、4月1日で今期の放送(全25回)を終了した。

このコーナーは、協会会員が出演し、パーソナリティの寺谷一紀氏とアシスタントの犬塚あさな氏とのかけあいで、医療や健康に関わるさまざまな情報を分かりやすくお知らせしているもの。番組の感想や健康に関する質問など半年の放送期間で86件の意見が寄せられ、一部には放送で回答を行った。

神戸市内からは、田中孝明支部長が11月12日に「今年のインフルエンザ」をテーマに出演したのをはじめ、歯科訪問診療や骨粗しょう症から政府の進める患者負担増計画、核兵器禁止条約など幅広いテーマで13人の先生が出演した。

**これまでの放送は協会ホームページでご覧いただけます！**  
右のQRコードからご覧ください。番組に寄せられた質問に対し、放送で回答しきれなかったものへの回答も掲載しています。



### リスナーからの反響

- ・田中先生の話聞いて、かかりつけ医の大切さを改めて考えました。「ワクチンが出来るまで三密を避けて、皆で頑張っていきましょう」田中先生の言葉に深く頷きました。ワクチンが出来るのを首を長くして待ちたいと思います。感染者が増えて医療者の方々の話は、不安を拭ってくれホッとした気持ちにしてくれます。(神戸市北区、女性)
- ・本日は核廃絶の話、お医者さんと核の話にびっくりしました。でも人間にとって核兵器は許せないものです。地球上からなくしたいもの、あらためて自分の脳にしっかり刻み込みたいお話でした。(神戸市須磨区、女性)
- ・国民目線でわかりやすいです。好きなコーナーです。(加古郡穂積町、女性)
- ・皮膚科の加茂先生のお話、本当に勉強になりました。皮膚科の病院に行くまでもないんですが、手作りの肌に優しいマスクのみで保湿剤は使っていなかったのが、早速購入して使うようにしたいと思います。ご指導ありがとうございました。(京田辺市、女性)
- ・「2050年脱炭素社会 CO2を減らそう」について、森岡先生のお話、興味深く聴かせてもらいました。原発ゼロを目指し、エネルギー消費の少ない生活をしてゆくには、今の社会構造を根本から変えていく必要があるということを感じさせられたように思いました。(岸和田市、男性、58歳)

## 神戸市政学習&市民集会

# 医療・福祉充実の神戸市政へ転換を



会場・オンラインあわせて70人以上が参加し、武村神戸支部副支部長(左)が開会あいさつした

神戸支部も参加する「神戸・市民要求を実現する会」(武村義人代表世話人)など3団体は3月9日、神戸市勤労会館とオンラインで、神戸市政学習&市民集会を開催。会場・オンラインあわせて70人以上が参加した。

武村義人協会神戸支部副支部長が開会あいさつに立ち、「新型コロナウイルスの感染拡大は現在の効率最優先の日本社会の矛盾を明らかにしたにも関わらず、国はデジタル化を進めようとし、神戸市も行財政改革方針でデジタル化を理由に来庁者を4割削減しようとしている。今の神戸市政はコロナ禍で苦しむ市民のための施策でなく、巨大再開発を進めるような冷たい市政だ。しかし、市民が動けば政治が動く」と訴えた。

味口としゆき市会議員(共産)が神戸市新年度予算とその問題点について説明。協会の会員アンケート結果を紹介し、県内診療所の7割が減収しており、医療機関への支援が急務であるが、神戸市には取り組む姿勢が見られないとした。また、震災を機に高齢者のコミュニティづくりの拠点として維持されてきたあんしんすこやかルームの廃止や5カ所ある水道センターの1カ所への集約など、重要な福祉の削減が盛り込まれていると批判。三宮再開発などの大型開発を見直せば、高校卒業までの医療費の無料化や中学校給食などが実現できると解説した。

会場からの発言では、医療機関職員から、神戸市の医療機関支援策は新型コロナ患者を受け入れのみを対象とした限られたものであり、感染の不安を感じながら医療を提供し続けている医療関係者の不安を拾うような施策が必要との発言がされたほか、中小業者の支援策の充実や中学校給食の改善など、市政の転換を求めて多くの声が出された。

### 神戸支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL078-393-1805 / FAX078-393-1802 e-mail yuasa-s@doc-net.ne.jp